

***** 佛事の常識・非常識 *****

Q:真夜中に枕経に来て頂くときに深夜料金が要るのでしょうか？ A:いいえ、要りませんよ。

ある終活セミナーの質疑応答の場面で、ある参加者から私が実際に受けた質問です。なぜこの質問がなされたかという、この参加者の身内が以前亡くなった時、夜が明けてからご住職に連絡して、枕経に来てもらったそうです。すると駆けつけたご住職が「亡くなってすぐ呼んでくれればよかったのに…」と仰ったそうです。この方にしてみれば、真夜中に連絡するのは非常識だからせめて夜が明けてからにしようと思慮してのことでした。そこで、せめてもの思いやりが、「深夜料金」という言葉になって表れたのでした。タクシーじゃあるまいし、「深夜料金」や「割増」というメーターがお坊さんの車に付いているはずもありませんが、それ程かたじけない気持ちがおありになることが尊いことだと思います。江戸時代の僧侶による枕経は、今の「検死」の意味合いがあったとも言われています。また人が亡くなって耳の機能がしばらくは残っていると仮定して、死後できるだけ早い段階でお勤めをして、安らかに旅立ってもらうのが望ましいと思います。もちろん深夜料金なんて要りませんよ。

***** ハッピープレゼントクイズ *****

クイズに答えて景品をゲットしよう！！

正解者の中から抽選で5名様にお花の苗ポッドをプレゼント。



問:経典に説かれた極楽浄土を模して造られた建物とは、次の3つの中のどれでしょうか？

- ①東京ディズニーランド ②宇治平等院鳳凰堂 ③栗林公園 掬月亭

答えの番号と感想と、住所・氏名をハガキか fax で徳成寺まで送って下さい。

〒760-0017 高松市番町 2-13-25 宛て 徳成寺ハッピープレゼントクイズの係まで
ふるってご応募下さい。毎月22日締切 当選者の発表は景品の発送に代えさせていただきます。

先月の答え、②の「仏の顔も三度まで」でした。仏様を怒らせちゃダメよ。

***** 坊守の月イチフログ *****

着るものがない！



女心と秋の空、と申しますが、最近は本当にコロコロと天気が変わりますね。震えるほど寒いかと思えば、真夏のように暑い日中もあたりして、みなさんお変わりございませんか？

先日 2、3日出かけていたのが原因なのか、風邪を引きました。

「もういい加減に長袖の服を着てね」

と優しい夫から嚴重注意されたのだけれど、うーん、服がない。夏の前にはいったい何を着ていたのか、記憶もない。ということで、とりあえず単衣の薄手デニムの着物を着ています。考えられない時には着物はとっても便利です。とりあえず、着物を着て帯を巻いておけば、ちゃんとしてみえるのが嬉しいですね。季節の変わり目です、みなさんもどうぞお大事に。